

がいようばん
概要版

としま 豊島区
きょう いく 教育
ビジョン
2025

豊島区教育振興基本計画

としま 豊島区
きょう いく 教育
しんこう 基本
けいかく 計画



家庭と地域の
教育力の向上と
活用を図り、子どもたちの
育ちを支援し見守ります

- ①コミュニティ・
スクールの推進と充実
- ②家庭と地域との連携
による教育力の向上
- ③地域人材・資源の活用
による地域を愛する
子どもの育成

新たな時代に適合した
学校をつくります

- ①学校における働き方改革の推進
- ②教育 DX の推進
- ③計画的な学校改築および改修の実施
- ④安全・安心な学校づくり
- ⑤学校図書館の充実

未来を切り拓く人を
育成します

④小中連携教育のさらなる推進

③健やかな生活を
送るための体力づくり

生涯にわたる人格形成の
基礎を培い、すべての
就学前の子どもを小学校に
円滑に接続させます

- ①幼児教育の質の向上
- ②幼児教育施設と
小学校の円滑な接続

誰もが自己肯定感を
高められる教育を
推進します

- ①特別支援教育の充実
- ②不登校対策の推進
- ③多文化共生の意識醸成と
日本語指導体制の充実
- ④放課後支援の充実



②豊かな心と人間関係の育成

基本方針
1
「知」「徳」「体」の
教育内容の充実

基本方針
2
就学前教育の
充実

基本方針
3
多様な子どもに
対する支援の
充実

基本方針
4
教育環境の整備

基本方針
5
学校と家庭・地域
との連携

豊島区のすべての
子どもの学習意欲と
ウェルビーイングが
向上している

★自分の可能性を伸ばし、未来を切り拓いて
いくための力が育まれている。
★学校や地域の中で、多くの人から
多くのことを学び愛され、
幸せを実感している。

「知」「徳」「体」の教育内容の充実

未来を切り拓く人を育成します

戻る

現状・課題

主体的に学びに取り組んだり、対話を通して考えを深めていくのが難しいと感じている子どもたちや、「自分にはいいところがない・わからない」と感じている子どもたちがいます。また、運動の機会の減少により、子どもたちの体力は低下しています。将来の予測が困難な時代、子どもたち一人ひとりが豊かで幸せな人生を切り拓くには、個性や創造性を育み、可能性を引き出す共生社会を実現させることが不可欠です。



それを踏まえた教育政策の基本方針

ICTを最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進します。

豊かな体験学習や集団活動を通して、他者への思いやりや自己肯定感、人間関係を築く力、社会性を育みます。

知

徳



運動

体力づくり

体

運動や体力づくり、健康への意識を深める機会を充実させ、子どもたちが生涯を通じてたくましく生きていくための力を育みます。

小中連携教育
のさらなる推進

小中9年間を見通した「学習指導」「生活指導」を確立し、子どもの成長をきめ細やかに支援します。

就学前教育の充実

生涯にわたる人格形成の基礎を培い、
すべての就学前の子どもを小学校に円滑に接続させます

もど
戻る

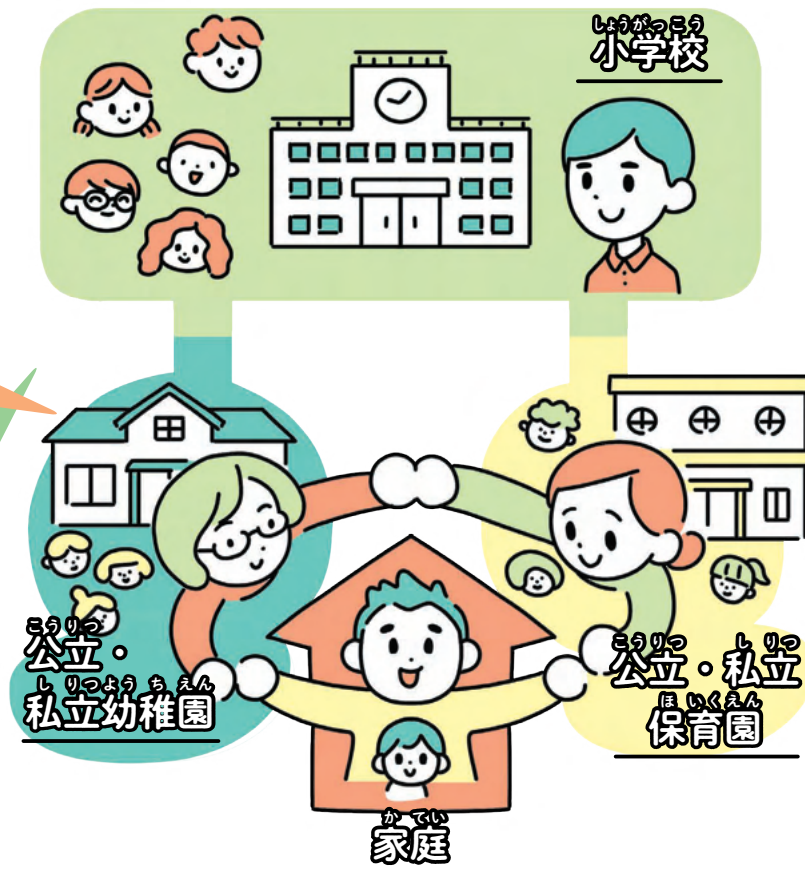
現状・課題

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うために大切な役割を果たしています。
しかし、共働き世帯増加に伴う保育需要の増加など、保護者のニーズや行政サービスが大きく変化するとともに、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。

それを踏まえた教育政策の基本方針

幼児教育に携わる関係者が相互に連携します。
就学前により質の高い教育を受け、成長できる環境を整備します。

子どもの発達や学びの連続性を高めるために幼児教育施設（公立・私立幼稚園、保育園など）の横の連携と小学校との縦の連携を強化し、小学校へ円滑に接続できる仕組みを構築します。



多様な子どもに対する支援の充実

誰もが自己肯定感を感じられる教育を推進します

もど
戻る

現状・課題

学校は、子どもたちが安心して楽しく通える環境であることに加え、福祉的な役割や子どもたちの居場所としての機能を担うことが求められています。

しかし家庭の事情、病気や障害の状態、発達の段階、特性、学習や生活の基盤となる日本語の能力など、子どもたちの置かれている状況は様々です。

個別の教育的ニーズを把握し、一人ひとりの可能性を伸ばしていくことが課題となっています。



それを踏まえた教育政策の基本方針

障害のある子どもの自立や社会参加を支援する
特別支援教育を進め、
インクルーシブな教育を推進します。



国際化が進展する中で、子どもたち自身が
多文化共生社会の一員として
相互理解を深めるための
様々な取組を進めます。



学校と関係機関が連携して不登校対策を進めるとともに、
不登校を未然に防ぐための取組を行うことで、
重層的かつ多面的な対策を推進します。

教育環境の整備

新たな時代に適合した学校をつくります

もど
戻る

現状・課題

新型コロナウイルス感染症の
感染拡大の経験を経て、学校
は学習機会と学力を保障する
役割だけでなく、子どもたち
に安全・安心な居場所を提供
するとともに、子どもたちの
社会性や人間性を育む場であ
ることが再認識されました。

教育デジタル・トランス
フォーメーション（DX）の推進や
計画的な学校改築・
改修、学校図書館
の充実など、教育
環境の整備を推進
します。

教職員がしっかりと子どもたちと向き合う
時間を確保し、子どもたちの学びを最大限
に引き出すことができるよう、働き方改革
をさらに推進します。

それを踏まえた教育政策の基本方針



家庭や地域と連携・協
力し、子どもたちが安
全に安心して学校に通
うことができるよう、
危機管理体制を強化し
ます。

学校と家庭・地域との連携

学校と家庭・地域の連携による教育力の向上を図り、
子どもたちの育ちを支援し見守ります

もど
戻る

現状・課題

地域と家庭とのつながりの希
薄化など、家庭教育を支える
環境や、子どもたちを取り巻
く環境も大きく変化していま
す。
保護者同士や保護者と地域と
の連携に加え、子どもたちが
学校や家庭だけでなく、地域
や多様な主体とつながる機会
の創出など、地域全体で多様
な教育活動を展開していく必
要があります。

それを踏まえた教育政策の基本方針

学校・家庭・地域とが
それぞれの役割と責任を
自覚しつつ、一体となって
子どもを育てて
いくことが重要です。

誰一人取り残さず、すべての子どもたちが
安心して地域で学び、育つことができる環
境をつくるために、コミュニティ・スクー
ルを推進し地域全体で子育てや教育活動に
取り組む体制を確立していきます。

